

は、天動説の解説も欠くべからざることを主張された。

高城氏（和歌山天文館）は、天文人口の増大に対応して、天文を教えることのできる先生の増加が急がれる、そのためには教員諸氏に呼びかけてこのような懇談会にどしどし出席してもらわねばならない、と述べられた。

天文教育には天体写真・スライド・映画フィルムなど多くの資料が必要だが、学会の支部に貸出し用の資料が備えてあると非常に有難い、という意見も出た。

今後の事業としては、教員にとって便利な天文図書天文教材のリストを作製すること、天文教育に関する研究

発表を行なうこと、天文月報にその概要を発表すること、理事会に天文用語の制定その他に関する要望書を提出すること、などを考えている。聞くところによれば、日本物理学会の中にも教育部会があって活動しているそうである。研究と普及という本会の二大目的を達成するため、会員諸氏の積極的な参加を期待したい。末筆ながら会場の確保に奔走された飛驒天文台の神野光男氏の御好意に対し心から感謝の意を表する。

(1970年11月2日 文責・佐藤明達，平瀬志富)

第3回天文教育懇談会開催のおしらせ

第3回天文教談会を天文学会年会にあわせて開きます。

1971年5月20日（木）午後1～4時

学士会館別館（東大赤門横）にて

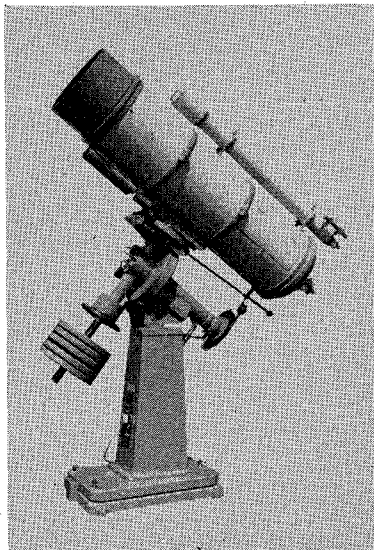
(93ページよりつづく)

の成果について十分に知っていただけることと思う。

最後にこの研究会では、固有運動・視線速度とともに測光学的基礎データの集積の必要性と、日本の研究者相互のデータの交換および利用の便をはかることの重要性

が強調された。なお、この研究会は総合研究(B)（代表者奥田豊三氏）から援助を受けたことを記しておく。

(研究会集録は郵送料共で一部150円ですので入用の方は東京天文台の磯部まで申し込んで下さい。)



天体望遠鏡
ドーム、製作

西村製の天体望遠鏡

40 cm 反射望遠鏡の納入先

- | | |
|--------|---------------------|
| No. 1 | 富山市立天文台 |
| No. 2 | 仙台市立天文台 |
| No. 3 | 東 京 大 学 |
| No. 4 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 5 | ハーバート大学 (USA) |
| No. 6 | 台北天文台 (TAIWAN) |
| No. 7 | 北イリノイズ大学 (USA) |
| No. 8 | サン・ジェゴ大学 (USA) |
| No. 9 | 聖アンドリウス大学 (ENGLAND) |
| No. 10 | 新潟大学高田分校 |
| No. 11 | ソウル大学 (KOREA) |
| No. 12 | 愛知教育大学(刈谷) |

606 京都市左京区吉田二本松町 27

株式会社 西村製作所

TEL. (075) 771-1570
691-9580